

# (株) えふえむ草津 第55回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和元年7月18日(木) 18時30分～20時00分

2. 開催場所 草津アマカホール 文化教室(1)

3. 委員の出欠 委員総数 6名 出席委員 6名

(出席委員) 岡本直輝 奥谷美津子 岩佐卓實  
辻 信一 松田泰子 森 健蔵

(放送事業者側出席者) 青木 均(代表取締役)  
山本正雄(事務局)

## 4. 議 題

- (1) 近況報告
- (2) 新番組「意外と知らない草津の歴史」について  
【毎月第2金曜日 パーソナリティ&ディレクター中島裕恵】
- (3) 前回審議会における改善意見等に対する措置事項
- (4) 訂正または取消し放送の実施状況
- (5) その他

## 5. 議事の概要



## (1) 近況報告

5月23日以降における新たな展開等として、6月10日には装いも新たに、番組の内容を簡単に紹介した番組表を印刷して配布を開始。この番組表は、ホームページでも見ていただける形で情報提供している。6月14日には、当社株主総会をフェリエ南草津5階会議室で開催し、平成30年度の決算状況の説明を行うとともに、今年度の放送事業の展開や運営の方針等について説明を行い、承認いただいた。

また、金曜日の第2・第4のモーニングロケッツ785では、新コーナー「教えて消防士さん」を西消防署と南消防署が担当いただく形で運用を開始。単なる告知型の番組ではなく、ご出演いただいた消防士さんの人となりを知れる、親しみある番組になってくれればと思っている。そして、6月17日には割込訓練放送を行うとともに、毎月17日の消防局提供コーナー「ボイスオブファイヤー」を放送。

請け負った業務では、6月22日にはYMiTアリーナのオープニングイベントやクレアホールのロビーコンサートの司会進行業務を、6月23日には、YMiTアリーナのオープニングを記念したバレーボールの試合の司会進行業務を行った。

6月からは、関西大学のインターン生の受け入れを行っており、具体的な活動としては「えふえむ草津における災害時の非常放送に関するレポート」をまとめていただく予定。また、6月27日には、俳句の番組「俳句5・7・GO!!」の素材集めを兼ねた「えふくさ仲良し句会」を初開催した。更に、7月12日からは、毎月第2金曜日の13時から、新番組「意外と知らない草津の歴史」をスタートした。この番組は、草津市教育委員会歴史文化財課と草津市立街道交流館協力によりあまり知られていない草津の歴史を皆さんに知っていただくとする番組である。

更に5月より放送番組審議会の松田泰子委員を講師にお迎えし、アナウンス講座を行っており最終回はラジオ体験を行う予定。

今後は、公共公益放送の充実を目指した取り組みや一般の娯楽番組の拡大に努めることにより、公共施設や事業団の指定管理施設、各地区まちづくりセンター等において放送を流してもらえるよう頑張っていきたい。

(A委員)

土、日曜日にスタジオを開けて放送する予定はあるか。

(放送事業者)

土、日曜日にスタジオを開ける予定はないが、今後は地域のイベントや事業を収録した番組などを放送していきたい。

(A委員)

観光客のことを考慮すると、土、日曜日にもスタジオを開けるべきではないか。

FM局側が、土、日曜日にスタジオを開けて放送するというスタンスをとった際に、不足するのは予算だと思うが、それをどのように克服するかを考えていくべき。

(放送事業者)

現状の資金や体制ではスタジオを開けることはできないが、スタジオ前のイベント広場の活用については、草津市の観光労政課や、草津まちづくり会社、観光ボランティアガイド協会と連携しながら検討していきたい。

また、土、日曜日には草津の歴史や観光に関する番組を放送し、それを観光客の方に聞いていただきたいと考えている。

(A委員)

9月14日に開催予定の「てくてく ゆめほんじん(夢本陣の観月祭)」を契機に、今後ともそのような取り組みを積極的に重ねていただきたい。

(放送事業者)

以前のように草津市から予算をいただけるのであれば、イベント広場を活用した事業を開催できるようになるだろう。

(B委員)

新しい番組表は、何処に配布しているのか。

(放送事業者)

今回、2500部を印刷して、協賛いただいている事業所に20～30部ずつ配布。  
また、ショッピングモールや草津駅構内の観光案内所のラックなどにも置かせていただいている。

(C委員)

番組表が見やすくなった。これに関して何か反響はあったか。

(放送事業者)

問い合わせはいくついただいている。  
番組が充実してきているので、これを契機にスポンサーを獲得していきたい。

(E委員)

番組のタイトルだけでなく、内容まで確認できるようになり良くなった。  
タイトル自体もよく考えられている。

(F委員)

番組「声の広報」をいつも聴いているが、内容も良いし聴きやすい。

(放送事業者)

ホームページには音源と共に、該当する広報くさつの紙面を載せているので、とても見やすくなっていると思う。

(D委員)

番組表にQRコードを載せれば、スマートフォンからオンデマンドに飛べて便利ではないか。

(放送事業者)

次回印刷する際に、QRコードを載せる予定で準備をしている。  
デザインは自前で行い、ネット印刷で安く発注している。  
デザインをしてくれている社員はシナリオライターもしてくれているので大変助かっている。  
番組表については、今後紙面を増やしてより充実した内容にしていきたい。

## (2) 番組「意外と知らない草津の歴史」について

放送の冒頭部分を聴取した後、審議に入った。

(放送事業者)

この放送は、7月からの新番組で初回の放送となるが、より聞きやすく分かりやすくなるように努めていきたい。

(A委員)

番組出演されてる街道交流館については、教育的すぎるように思う。また、街道交流館の立場や役割、草津宿本陣との連携強化等について、観光という観点でお客さんに喜んでいただけるようにもっと工夫すべき。

観光という点から、施設運営の在り方も含めて改善が必要であり、この放送についても、そうしたことの延長として楽しくて良い番組にしてほしい。

(放送事業者)

教育委員会が担当してきたことから、教育という観点での展示等が重視されてきたと思う。この番組に出演いただいている八杉館長は、そういった面の改善を進めてきた方なので、力を借りて楽しい番組にしていきたい。

(B委員)

八杉館長は、展示をどのようにすれば興味を持っていただけるのかを色々と工夫し、また自身のネットワークを使って積極的に取り組んでおられるので、我々自身もそれを学んでいく必要がある。

(放送事業者)

遺跡の発掘を担当される技師の方は、学術的なことに傾注される傾向があるが、八杉館長はそれをどう活かすのかを考えて来られた方。この番組を通じて、職員の育成と共に市民の方々に関心を持っていただけるよう、ご尽力いただきたいと思っている。

(F委員)

草津市は宣伝が下手なのかも知れない。例えば、草津川跡地公園の利用者は目に見えるように増えているが、これらの人たちが草津宿本陣や立木神社などへ行こうという気持ちになってくれるような工夫が無い。

(D委員)

「急がば回れ」(「武士の やばせの船は はやくとも いそがば廻れ せたのながはし」)は、草津市の矢橋のことであり、天井川のトンネル「マンポ」も興味深い。また、かつて草津市にあった競馬場も含めて、話題をリスナーからも集めて掘り下げ、データを蓄積して多くの人に知っていただけるような番組にしてはどうか。

(A委員)

各学区で「記憶絵」を作成しているが、こうしたものを活用すればリスナーにも興味を持ってもらえるのではないか。

(E委員)

初回の番組だったのでリスナーに興味を持っていただける内容までにはなっていないが、こうした意見を参考に、「へえ～そうだったのか」と思っていたいただけるような良い番組にしていってほしい。

(G委員)

草津市は他市からの転入者が多いが、行政として一番知っていただきたい草津の時代や歴史を議論し見定めておいた方が良くはないか。

(A委員)

観光ボランティアガイド協会では、江戸時代以前に興味を持っていただけるものだと考えてきたが、草津市に住んでいただいている方がリスナーであることから30年～50年前の草津市の様子を伝えるのも大切かもしれない。

(放送事業者)

草津市は歴史ある建築物の保存が進まず、すべて取り壊して開発を進めてきたので、少し前の時代の事も含めて、伝えていく必要があるだろう。

(A委員)

江戸時代以降、街道沿いの建物の多くが無くなり、現存しているのは太田酒造と草津宿本陣くらいしか残っていない。和宮様や将軍様が草津においでになった時の様子と比べると、街道に面しているところの変化がものすごく激しい。

(F委員)

物を仕入れて商いをしている所は殆ど残っていないが、提灯など自分で作っている所は少し残っている。

(D委員)

そうした話が「へえ～なるほど」ということになる。  
聴いて人に教えて自慢したくなるような話を入れると良い。

(G委員)

万葉集の中で矢橋のことを歌った恋の歌がある。

(A委員)

万葉集で言えば、巻一の50番の歌も、草津に関連している。

(放送事業者)

立命館大学BKCにある「木瓜原（ぼけわら）遺跡」についても、そこで製鉄されたものをどのように運搬したのかということも含めて、大変興味深い話だ。

(G委員)

高島から鉄鉱石は運ばれて、牛で木瓜原まで引っ張って来て、古道を歩いて奈良まで運ばれたと考えられている。もし大津京が無くなっていなければ、今の奈良の大仏様がこの地に建造されていたかも知れない。

(A 委員)

夢本陣でマンホールカードを配布しているが、渡す時には必ず草津とのつながりを持っていただけるように工夫している。

例えば、関東の人には江戸城を築城したことで有名な太田道灌、奈良の人なら「常善寺」の話をさせていただいている。というのも、東大寺創建に尽力し「東大寺初代別当」となった良弁僧正が、東大寺の前に創建したお寺であり、興味を持っていただけるのではないかと考えている。

(G 委員)

古文書を解読している教員がいるが、このエリアの農民の識字率は非常に高く計算にたけていたようだ。豊作の時には自分たちで年貢を計算して申告し、不作になれば何年か前に多く収めたので減額するよう自分たちで調整していた。

(A 委員)

それは、渡来人の影響だろうと思われる。

(G 委員)

こうした内容の話は立命館大学の講座で毎年行っている。

(放送事業者)

是非、そのような講座も番組で活用させていただきたい。

### **(3) 前回審議会における改善意見等に対する措置事項**

令和元年5月3日(金)正午から放送した“声の広報(ラジオ版)5月1日号”の1時間番組を15分間に編集し直したものを聴取いただいた後、番組内容を審議していただいた。本件に関する質疑応答および措置事項は以下のとおり。

(放送事業者)

この番組は、毎月第1金曜日の正午から放送している。従来は、草津市が作成したカセットテープを視覚に障害がある方々へ配布されていたが、今年3月よりCD化とラジオ放送でも行っている。

(委員)

今までは、広報誌を読んでいただけだったが、トークも入って聞きやすく、また分かりやすくなった。目の不自由な方は、声に大変敏感なので従来は極力感情を入れないようにとのことだったが、より多くの人に聞いていただくために工夫されている。

(放送事業者)

第一回目の「ぐるっとまち歩き～草津道中～」もそうであったが、出演いただいた方の話し方が良かったので大変分かりやすかった。

(委員)

草津宿本陣の田中文子さんは、案内の時に必ず笑いを取って楽しく説明されていたので大変好評だった。

(委員)

笑いを入れることは大切。

楽しく話すとか、楽しく学ぶという姿勢が必要であり、放送でもこうしたことを取り入れていただきたい。

(放送事業者)

今後も楽しく、聞いている人に内容が伝わり分かりやすい番組づくりに努める。

その他の質疑応答

(委員)

当方で、来る9月にえふえむ草津スタジオのある「くさつ夢本陣」を使ってイベントを計画している。えふえむ草津も当日は生放送など積極的に協力いただけるようなので、観光ボランティアガイド協会などの団体の含めて皆んなで盛り上げていきたい。

(放送事業者)

俳句関連の新しい番組を計画しているので、イベント当日に句会などもできれば良いと思う。

(委員)

以前にも句会をしたいとの問い合わせがあり、句会には適している場所だ。

また、4月より「ぐるっとまち歩き～草津道中～」を放送しているが、是非多くの方に聞いて欲しい。

(委員)

草津市の住民であっても、まだまだ草津について知らないことが多いので役に立つ。

また、4月から以前と違って色々な番組を作っているので良い感じになってきているなあと思っている。

新しい番組では、聞きやすさや表現力の向上が求められる。パーソナリティやスタッフがもう少し実力を上げて行ってくれたら良い。

(放送事業者)

パーソナリティの基礎を鍛えていただくために、アナウンス講座を開催している。ここから新たな人材が育っていくと裾野が広がるので、更に良い番組が作れるのではないかと考えている。

本当に、番組審議会では、次の一手になるような番組づくりに大変参考になる意見をいただけるので喜んでいる。

(委員)

意見を出すだけで終わるのではなく、それを踏まえて番組に取り入れていただいている。チャレンジすることが大切であり、全体として良い方向に向いていると思う。

(委員)

今の大学生は歴史を知らない学生が多く、東海道、中山道といっても興味を示さない。例えば、高槻のジャズフェスは小学校を使って大規模に行っており、隣の茨木でも開催し若い人も含めて多くの方が来場している。

そういう面でいうと、歴史だけに留まらず新しいものを作り上げていくことも必要では無いか。

(委員)

草津市には、「niwa+ (ニワタス)」 や「de 愛ひろば」など新しいスポットも出来ているし、ハートでつながる草津のハッピースポットや商店街の先には立木神社もありデートスポットとしても良い。インスタ映えも含めて上手く活用できればと思う。

(委員)

京都宇治の正寿院にハート型の窓があったり天井にカラフルな絵が描かれていて全国から来場者が後を絶たない。そういうふうにアピールするような広報戦略が必要。

(放送事業者)

6月に新しい番組表を作成し配布する予定である。

情報番組の内容や防災ラジオとしての役割を分かりやすく記載すると共に、これを元に営業活動を行っていく。

#### (4) 訂正または取消し放送の実施状況

特に無し

#### (5) その他

(B委員)

9月に行われる市議会議員選挙の関連放送は実施されるのか。

4年前には開票所にパーソナリティが来られていたように思う。

(放送事業者)

草津市の協力で必要な情報を得ることができれば行いたい。

(D委員)

内閣府の避難勧告等に関するガイドラインが改定されたが、レベル4になって全員避難となった場合の対処方法など、実際には難しい問題をはらんでいる。

そうした場合のFM局としての対応方法などについて、検討しておくべきではないか。

(放送事業者)

非常時の対応策について、内部で議論を進めている最中だが、当FM局に求められている非常時の役割について位置づけが明確で無い点もあり、どのような情報を流すべきかも含めて調整していきたい。



(G委員)

災害時の緊急避難等の問題だけでなく、災害が起こった際の継続した対応について考えておく必要があるだろう。

緊急時にアナウンサーが常駐することはできるのだろうか。

(放送事業者)

現状では常駐は難しいので、AIアナウンサーの導入なども検討する必要があるのではないかと考えている。

(D委員)

割り込み放送で市役所職員がアナウンスする際、話し方がバラバラで聞き取りにくいことがある。アナウンスのやり方の講習会も検討してはどうか。

(E委員)

電波が悪い地域もあり、聞いていただけない場合もある。

(放送事業者)

都市型難聴の問題もあり、電波の入りにくい地域ではインターネットサイマル放送の利用なども普及させていきたい。

(G委員)

SDGsの取り組みも大切なので、コミュニティ、パートナーシップという切り口からロゴマークを付けても良いのではないか。

(放送事業者)

立命館大学BKICが一番積極的な取り組みを行っているので、連携していきたい。

## 【議事録の公表方法】

①当社玄関カウンターに設置（7月31日～）

②当社ホームページへの掲載（7月31日～）

③番組「草津レポート」（8月9日12時～）の中で番組審議会の内容を放送